

祈り、伝え、 二二〇〇年。

特別な年だからこそ戴ける
特別な白山さまの御力を授かり
これまで以上に幸多き一年を
おすごしください。

神々が住まう山として崇拝されてきた
日本三名山の一つ白山。
御神体である白山は開山してから
平成二十九年で一三〇〇年を迎えます。



神々の住まう山「白山」

霊峰白山は雪を頂いた神々しい姿から神々の住まう神聖な場所として崇敬を集め、「白き神々の座」と称されています。
富士山、立山と並び「日本三名山」に数えられる白山。
古くから霊山として畏敬されており、長きにわたり人が足を踏み入れることは許されておりました。
今からおよそ2100年前、神様の鎮まる神体山として崇敬を集め、おまいりされたのが白山比咩神社(白山神社)のはじまりです。
霊峰白山に初めて登拝したのは、養老元年(717)6月18日に越前の僧 泰澄(たいちょう)が登頂し、白山は開山されました。
これが白山修験・白山神社の起りとされています。平成二十九年に開山1300年を迎えます。

白山開山1300年

今から1300年前、白山の山頂に初めて登ったのが越前(現在の福井県)の偉い僧、泰澄(たいちょう)という人です。
泰澄は白山麓の船岡山にある「妙法の窟」にこもって修行し、次に手取川の「安久壽(あくど)の淵」で一心にお祈りをしていました。すると白い馬に乗った白山比咩大神(しらやまひめのおおかみ)が現れ、泰澄に「私は白山に住んでいる女神です。私の本当の姿を見たいと思うなら白山の頂上へおいでなさい」と告げられました。
泰澄は「これぞ、まことの白山の神様のお姿に違いない。ありがたい」と伏して拝まれました。そして目に焼き付けた十一面観音菩薩を木像にきざまれて、白山の頂上におまつりしたということです。
続いて泰澄は別山(べっさん)で大山祇神(おおやまづみのかみ)の本地仏・聖観音(しょうおんのん)を、大汝峰(おおなんじみね)で大己貴神(おおなんぢのかみ)の本地仏・阿弥陀如来を感得しました。この三神を白山三所権現として各山頂におまつりしてあります。



白山比咩大神(常陸姫大神)
青木寄彦画(白山比咩神社蔵)

霊峰白山とは



絹本着色白山霊茶羅図(能美市立博物館蔵)

常に雪の冠を戴く「白き神々の座」白山。
白山を源流とする川は、加賀の手取川をはじめ、越前の九頭竜川、美濃の長良川などがあげられます。この三国は白山信仰が早くに広まった地域であり、白山信仰が山からもたらされる水によって育まれたことを示唆しています。
一方白山は、日本海の船乗りから航海の目印として心の支えとされ海の神とも信仰されています。
厳密には白山という山はなく、御前峰(ごぜんがみね)別山(べっさん)大汝峰(おおなんじみね)の3つの峰を総称して「白山」と呼びます。
御前峰が一番高く標高2702メートルです。石川、福井、岐阜、富山の四県にまたがる霊峰です。



新潟 白山神社の十一面観音像

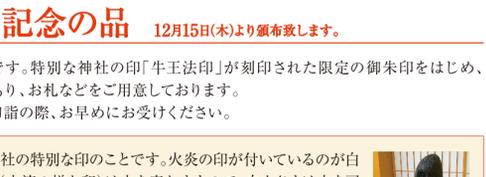
元亀年間(1570)白山神社の別当寺*の宝亀院(西堀9番町)の第二代住職憲海が霊夢を得て白山大権現の本地仏である十一面観音像の銅像と宝剣と宝鏡を白山神社に安置したという記録が残っています。戦国時代末期の火災により白山神社社殿や文章を焼失し、詳細はわかっておりません。
江戸時代の寛永十年(1633)に、藩主牧野忠成は新年の十一面観音像の神社安置に援助を与え、宝亀院賢尊が社殿再建を提唱。牧野家の全面的な協力を得て、正保四年(1647)社殿は竣工し、十一面観音像も安置されおまつりされました。6月18日に竣工遷座祭がおこなわれた事から、白山神社ではこの日を祭礼の日とし、現在の7月12日~18日の夏祭りにあたります。
これにより、例年3月12日より18日までの春祭り(現在は4月12日から18日)は、神社祭りで、6月12日から18日(現在は7月12日から18日)の夏祭りは、大般若を説読し仏式で行われ、異なる形式のお祭りとなります。その後、明治元年(1868)神仏分離令が発布され、明治2年12月十一面観音像ほか仏像仏具を宝亀院に引き渡し、神仏習合以前の往古の状態となりました。
白山神社本殿に220年余の間安置された秘仏・十一面観音像は現存し、宝亀院の6月の祭礼の日には、一年に一回、御開帳され参拝する事ができます。
※別当寺とは、神社を管理するために置かれた寺のこと



十一面観音菩薩像(宝亀院所蔵)

白山くくり石

白山は、神々の住まう神聖な場所として崇敬され、富士山、立山とならび「日本三名山」と数えられています。その白山の神山より、開山1300年を記念し、特別に切り出したのがこの御神石です。「白山くくり石」の名は、主祭神である「菊理媛大神(くくりひめのおおかみ)」に由来しています。男女の縁に限らず、家族や仕事など様々ないい縁に恵まれ、より多くの幸を戴けるようにと願うもので、参拝時には直接手を触れ、この御神石から白山さまの御力を頂戴し、お祈りください。
はるか300キロ先の白山頂上に鎮座する白山奥宮を白山くくり石を通し、おまいり致します。



白山開山1300年限定 特別記念の品 12月15日(木)より頒布致します。

白山開山1300年の特別な御力を授かった限定の品々です。特別な神社の印「牛王法印」が刻印された限定の御朱印をはじめ、1300年を記念して特別に仕立てられた御朱印帳やおまもり、お札などをご用意しております。いずれも特別記念の品につき、数に限りがございます。初詣の際、お早めにお受けください。

ごおうほういん 牛王法印
牛王法印とはお札に刻印される神社の特別な印のことです。火災の印が付いているのが白山の法印の特徴であります。宝珠(水滴の様な印)は水を表わすもので、白山さまは水を司る神様であります。水には心身を清める神秘的な力があるとされ、災いや厄など災難、不幸をはらってくださる御力を表しております。災難を除き福を招くと刻印され玄閻や鬼門の柱などに貼られたり神棚におまつりされておりました。
古く白山では家内安全、延命長寿のお札に刻印されておりました。各地の白山神社でデザインが異なり白山開山1300年に際しこの牛王法印を刻印したお札・御朱印を復刻致しました。

お札 初穂料 1,500円

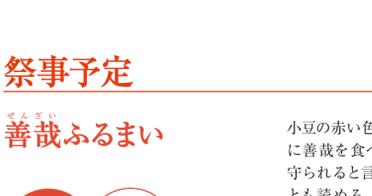
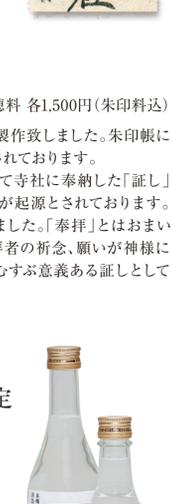
神社の特別な印である牛王法印が刻印されているお札です。災難を除き福を招くと刻印され玄閻や鬼門の柱などに貼られたり神棚におまつりされておりました。古く白山では家内安全、延命長寿のお札に刻印されておりました。各地の白山神社でデザインが異なり白山開山1300年に際しこの牛王法印を刻印したお札を復刻致しました。家内安全、開運厄除、延命長寿のお札です。平成29年限定となります。



おまもり 初穂料 各1,000円
白山さまは縁結びの神様です。幸福のご縁を戴かれますように「家内安全」家族の縁結び「商売繁昌」いい仕事との縁結び「開運招福」様々ないい縁との縁結び

御朱印 開山1300年限定 紙のみでのお渡しになります。 朱印料 500円

この御朱印には神社の特別な印、牛王法印が押印されておきます。和紙は加賀の二俣和紙です。白山開祖泰澄が白山を開山した養老元年(717)頃に医王山に寺坊を建て紙漉きを始めたこととされ1300年の歴史を持ち加賀百万石前田家の加賀藩の御料紙として使われてきた由緒ある和紙です。和紙にお書きした紙朱印のみでのお渡しとなります。お持ちの朱印帳にはお書きできません。平成29年限定で限定1万枚となります。
御朱印には神社の名を墨書し神印を戴くことからお札やお守りと同様、尊く大切にされてまいりました。開山1300年の記念の年に参拝した証「御朱印」を受けご加護を戴きましょう。御朱印は朱印帳にお貼りになるか神棚におまつりしても構いません。この記念の年に、是非、御朱印をお受けください。



御朱印帳 開山1300年限定 初穂料 各1,500円(朱印料込)
開山1300年を記念し市松模様の御朱印帳を製作致しました。朱印帳には上記の1300年記念の御朱印が押印・墨書されておきます。
御朱印の由来は参詣者がお経・願文を書写して寺社に奉納した「証」として寺社の名を墨書し神印を戴いたことが起源とされています。それ故、お札と同様に尊く大切にされて参りました。「奉拝」とはおまいり戴いた証ということです。御朱印とは参拝者の祈念、願いが神様に届けられた事の証しなのです。神様と皆様をむすぶ意義ある証しとして大切にお持ちください。

祭事予定

善哉ふるまい
小正月 1月15日(日) 午後2時より
小豆の赤い色は邪気をはらうとされ、小正月に善哉を食べると1年間、病気や災難から守られると言われます。善哉は「よきかな」とも読める、お正月の縁起の良い食べ物です。平成29年の小正月は白山開山1300年を記念し、霊峰白山の水を使用した善哉を1300名様におまいます。白山さまの御力を戴き、家族の無病息災、家庭円満を祈りましょう。※なくなり次第終了となります。



古町芸妓による豆まき
節分 2月3日(日) 午後3時頃より
季節の変わり目に生じる邪気(鬼)をはらうため、節分には、「魔滅」に通じる「豆」をまき、年齢の数、もしくは年齢より1つ多く食べるのが昔ながらの風習です。平成29年は、古町芸妓とにいがた観光親善大使が白山神社に登場し、豆をまきます。1年の開運厄除をお祈り致します。



白山さまの春まつり

春まつり 4月12日(日) ~ 18日(土)
一年の五穀豊穰・産業経済の発展を願うのが春まつりです。春風にのりやってくる疫神がもたらす疫病や災厄を鎮めるための鎮火祭も行われます。桜が咲き誇り、多くの出店が並び、境内が賑わいます。
4月16日には、白山開山1300年を記念し、霊峰白山の神水を使ったコーヒータウンを境内にて1300名様におまいます。白山さまの神水の御力で、家族の無病息災、家庭円満を祈りましょう。※なくなり次第終了となります。



風鈴まつり

風鈴まつり 6月30日(日) ~ 7月18日(日)
白山開山1300年を記念して、今年初開催となる祭事です。風鈴の音色で、厄をはらい、願いが風に乗り、神様に伝わり、厄をはらい、願いが結ばれますように、境内には、色とりどり1,000個以上の風鈴が並びます。



蓮まつり

蓮まつり 6月30日(日) ~ 8月13日(日)
白山開山1300年の節目の年に、世界遺産である平泉・中尊寺より贈られた「奇跡の蓮」が、白山さまの蓮池で花ひらきました。平安時代の人々が眺めていたであろう、800余年前の風情を今に伝える貴重な蓮の花をぜひご覧下さい。



白山さまの夏まつり

夏まつり 7月12日(日) ~ 18日(土)
白山さまのご鎮座をお祝いする夏の戸神興。本殿前は、総勢300人の新潟江戸神輿連合の威勢の良い掛け声が響き渡り、金魚すくい、ラムネ、ぼっほ焼きなどの屋台が並び賑わいます。

白山開山1300年大祭

白山開山1300年大祭 7月15日(日) 午前11時より
今年、白山開山1300年の節目の年です。白山開山1300年を祝し祭典が行われます。

